

CV-22オスプレイの飛来に抗議する意見書

令和元年7月22日午後3時半頃、米軍横田基地配備のCV-22オスプレイ3機が嘉手納基地に飛来した。同型機の嘉手納基地への飛来は、今年2月以来4度目となる。

米軍は沖縄防衛局の照会に対して「CV-22オスプレイは第353特殊作戦群のその他部隊とともに平素から行う現地訓練を実施するために嘉手納基地を訪れている。運用保全のため飛行スケジュールは説明できない」と回答し、いまだ滞在期間など詳細は明らかにされていない。

嘉手納基地を拠点とする第353特殊作戦群は、同型機の嘉手納基地での定期的な訓練実施を明言しており、住民からはさらなる騒音激化のみならず墜落等の重大事故を懸念する声が高まっている。

本町議会においては、平成25年1月から計6回にわたり同型機の嘉手納基地配備反対及び県内訓練場使用に断固反対する決議を全会一致で可決している。また平成25年4月には「CV-22オスプレイの嘉手納飛行場配備に反対する三連協住民大会」を開催してきた経緯を踏まえ、嘉手納基地の訓練拠点化につながる一切の動きを看過することはできない。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、CV-22オスプレイの飛来に抗議するとともに、下記事項を速やかに実現するよう強く要求する。

記

- 1 嘉手納基地へのCV-22オスプレイの飛来を中止すること。
- 2 CV-22オスプレイの県内訓練場使用計画を撤回すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年7月30日
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 内閣官房長官 (沖縄基地負担軽減担当)
沖縄及び北方対策担当大臣 外務省特命全権大使 (沖縄担当) 沖縄防衛局長
沖縄県知事

CV-22オスプレイの飛来に抗議する決議

令和元年7月22日午後3時半頃、米軍横田基地配備のCV-22オスプレイ3機が嘉手納基地に飛来した。同型機の嘉手納基地への飛来は、今年2月以来4度目となる。

米軍は沖縄防衛局の照会に対して「CV-22オスプレイは第353特殊作戦群のその他部隊とともに平素から行う現地訓練を実施するために嘉手納基地を訪れている。運用保全のため飛行スケジュールは説明できない」と回答し、いまだ滞在期間など詳細は明らかにされていない。

嘉手納基地を拠点とする第353特殊作戦群は、同型機の嘉手納基地での定期的な訓練実施を明言しており、住民からはさらなる騒音激化のみならず墜落等の重大事故を懸念する声が高まっている。

本町議会においては、平成25年1月から計6回にわたり同型機の嘉手納基地配備反対及び県内訓練場使用に断固反対する決議を全会一致で可決している。また平成25年4月には「CV-22オスプレイの嘉手納飛行場配備に反対する三連協住民大会」を開催してきた経緯を踏まえ、嘉手納基地の訓練拠点化につながる一切の動きを看過することはできない。

よって、嘉手納町議会は町民の生命、財産、安全及び平穏な生活を守る立場から、CV-22オスプレイの飛来に抗議するとともに、下記事項を速やかに実現するよう強く要求する。

記

- 1 嘉手納基地へのCV-22オスプレイの飛来を中止すること。
- 2 CV-22オスプレイの県内訓練場使用計画を撤回すること。

以上、決議する。

令和元年7月30日
沖縄県嘉手納町議会

(あて先)

駐日米国大使 在日米軍司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官
在沖米国総領事 嘉手納基地第18航空団司令官 沖縄県議会議長